



27号 令和6年2月21日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより(職員編)

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠

2年間の研究指定の成果を次年度につなぐ!

本日、中学校区として2年間取り組んだ「小中で創る『未来の学び』 実践事業」を総括する合同研修会を実施しました。いちばんの成果は、小中の職員全員が「一枚岩」となって研究に取り組めたこと!そのことが阿賀っ子の「居場所づくり」に大いにつながったことです!



西林教諭(阿賀中 研究主任)、石橋教諭(阿賀小 研究主任)による2年間の取組の成果発表



広島工業大学 竹野英敏教授からも 阿賀小・中の職員が一人一人の子供達にしっかり寄り添い続けたことを評価していただきました。



小中の職員が研究会以降の取組を忌憚なく紹介し合い、とてもよい雰囲気でしたね!

<これまでの取組を次年度にどうつなぐか?>

我々がこれまで取り組み続けた「居場所づくり」の研究は、教育の根底・根幹に据えるべき最も大切なこと!教育の「本丸」と言っても過言ではないこと!それゆえに、研究の方向性はそのまま変えることなく、ご縁あって出会う子供達の背景や実態をしっかり踏まえ、その子その子に応じた「居場所」をさらに追究して参りましょう。それには、これまでの蓄積が生かせるところもあるでしょう。新たな手立てを模索する必要も出てくるでしょう。そういった取組の中で、目指すべき「居場所」のクオリティをさらに上げて参りましょう。